

皆さまの意見を大事に



JAは3月16、17、21日に春期組合員座談会を管内20会場で開きました。座談会での貴重な意見・要望については広報誌5月号で紹介します。

野菜の栽培ポイント学ぶ



JAは3月1日、かあちゃんの夜間家庭菜園講座を管内2会場で開き32人が受講しました。

長期安定出荷に向け部会一丸



JAねぎ部会は3月21日、実績検討会と通常総会を開き、成績優秀者表彰で8人の部会員が表彰されました。

適期作業を心掛けて



JA花き部会小菊専門部は3月14、15、17日、管内12会場で栽培管理指導会を開き、苗作りと圃場準備のポイントを確認しました。

冬野菜・加工野菜の定着拡大へ



JA野菜部会は3月15日、通常総会を開き、各専門部の優良生産者6人が表彰されました。

基礎を学び高品質生産に



JAピーマン部会は3月13日、新規栽培者指導会を開き新規生産者10人が栽培の基礎や販売流通のポイントを学びました。

リンゴジュースムースに挑戦



JA女性部興田支部の役員は3月18日、佐々木万里子副支部長を講師にスイーツ作りに挑戦しました。

販売目標4100万円を目指す



JA果樹部会は3月3日、通常総会を開き、日本ナシの部で6人、加工モモの部で6人が表彰されました。

農業用ドローン活用へ向け



(農)清田フレンドファーム(千厩)は3月11日、農業用ドローンの説明会と農薬散布の実演飛行を行いました。

効率的経営で強固な組織へ



(農)おくたま農産(千厩)は3月5日、設立10周年記念式典を行いました。



▲交通安全の願いを込めて贈呈する部員
色鮮やかな亀のお守り▶

交通安全の願いを込めて

手作りのお守りを寄贈

JA女性部花泉中央支部は3月14日、市役所花泉支所を訪れ、交通安全の願いを込めた亀のお守りを地区内の小学1年生に入学祝いとして贈りました。古代米などの稲を使って編んだお守りは同女性部の熊谷睦月さんが作成し女性部員がラッピングを行いました。佐藤セイ子支部長は「子どもたちが健やかに育つように見守ってほしい」と思いを寄せました。



▲一関市教育長に贈呈

平泉町教育長に贈呈▲

農業への関心を高めてほしい

食農教育教材本を贈呈

JAは3月24日、一関市、平泉町の教育長に食農教育補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を管内35校の小学5年生に1540部を贈りました。JA橋本和幸常務理事は「食の安全・安心と農業の役割に関心を持ってほしい」と期待を込めました。小菅正晴一関市教育長は「地域の主要産業である農業について子供たちに伝えるために活用していきたい」と話しました。



豚汁を振る舞う参加者

食こそ命、JAは守ります

3.11協同でつなぐ強い絆

震災から6年を迎えた3月11日、JAはJR一ノ関駅前広場で「東日本大震災を風化させない3.11行動」を行いました。JA女性部、青年部、役職員約40人が参加。ダイコン、ネギなどの野菜、地元産大豆で作った豆腐、豚肉を使った「地元の味まるごと豚汁」500食と「いわて平泉米の塩むすび」を駅の利用者などに振る舞い、食の大切さを呼び掛けました。



定植の指導を受ける新規生産者

生産基盤拡大に向けて

ナス新規生産者定植指導会

JAなす生産部会は3月17日、新規生産者定植指導会を開きました。新規生産者指導会は4年ぶりの開催。ナス苗定植の実習と圃場準備の説明を受け今後の作業について確認しました。今年の新規栽培者は5人。一関農業改良普及センター細川健主査農業普及員は「マルチを張って地温と水分を確保し、定植の2週間前に圃場の準備を終わらせてほしい」と呼び掛けました。